

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 生徒の学力を定着させてほしい
- 教員の授業力向上に努めてほしい
- 「朝の読書活動」をさらに充実させてほしい
- 地域に誇りをもってほしい

【学校教育目標】

心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・自分や仲間を大切にし、決まりを守る生徒
- ・人権意識を持ち、互いを認め合う生徒
- ・基礎学力を身につけ、自己を伸ばせる生徒
- ・地域や学校に誇りをもつ生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携について弱さがある

生徒の実態

- あいさつができる
- 人懐っこく素直な生徒が多い
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習の定着率がやや低い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎学び合いの従業の推進
- ◎家庭学習の定着
- ◎「朝の読書活動」の推進

具体的な取組

- 「学び合いの授業づくり」の実践的研究を推進し、『TOWA7』を共有する
- 「授業づくりの5ポイント」を徹底させた授業を行う
- 毎日の宿題で家庭学習の定着を図る
- 「朝の読書活動」の充実を図る

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る
- ・わかる授業、生徒主体の授業を実践したと思う(生徒・教師90%)

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎仲間づくりの実施

- 特別の教科「道徳」の授業は、教科書に加え、「希望へのかけはし」を取り入れた年間計画を立て、全教職員で取り組む体制を作る
- いじめアンケートを年間3回実施し、いじめの未然防止・早期発見早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 生徒会での縦割り班活動、学年集会、学級会等で、子供同士が関わる機会を増やす

- ・学校が楽しいと感じる(生徒90%)
- ・「私たちの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」の活用90%
- ・いじめの解消率100%

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

- 「朝ラン」に参加したりして体力の向上を図る
- 『宮前っ子子育てプラン』を配布し、「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ・朝ごはんを食べた(生徒100%)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ
- 保幼小の接続、中学校区での小中の連携を推進・充実する
- 授業のゲストティーチャー、クラブ講師等の人材や地域の自然・文化を積極的に活用する

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと